

外国語教育メディア学会 関西支部 2022年度春季研究大会
(2022.6.26)



新しい時代の英語教育 —初等中等教育における英語教育は、今—

朝日大学 経営学部・英語教育センター
教授 亀谷 みゆき

本日の内容 – 新しい時代の英語教育 –

1. 新学習指導要領に基づいた授業づくりとは
～コミュニケーションを図る資質・能力の育成～

2. 評価の工夫とは
～目標と指導・評価の一体化～

本日の内容

1. 新学習指導要領に基づいた授業づくりとは
～コミュニケーションを図る資質・能力の育成～

2. 評価の工夫
～目標と指導・評価の一体化～

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現
各学校における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化，高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し，目標や内容を構造的に示す

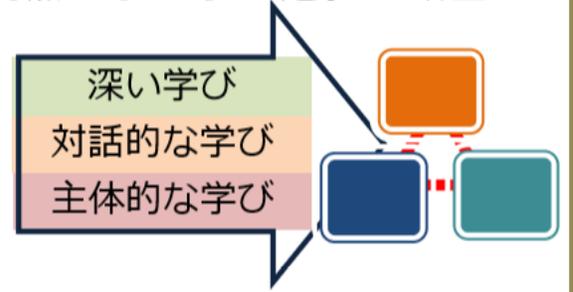
学習内容の削減は行わない*

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など，新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず，質の高い理解を図るための学習過程の質的改善



学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

生きて働く
知識・技能の習得

理解していること・できる
ことをどう使うか

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

小学校の課題

英語でやり取りする意味が弱い→必然性を高める

中学校の課題

即興性が弱い→暗記からの脱却を目指す

高等学校の課題

発信力が弱い→統合的な言語活動を行う

「外国語を使って何ができるようになるか」

- 四技能の総合的な育成・発信力の強化
- 目的や場面、状況等に応じて外国語でコミュニケーションを図る力の育成
- 五つの領域別の目標を学習指導要領に設定（小中高等学校を通じた）
 - 「聞くこと」
 - 「読むこと」
 - 「話すこと [発表] 」
 - 「話すこと [やり取り] 」
 - 「書くこと」

新学習指導要領では、全ての教科等の目標について、
①育成することを目指す資質・能力（何ができるようになるか）と、
②教科等の特質に応じた学習過程（どのように学ぶか）を明示。

「外国語を使って何ができるようになるか」

- 五つの領域の力を総合的に育成（**統合型**の言語活動を充実）
→英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ
- 発信力の育成**をさらに強化
→論理・表現Ⅰ～Ⅲ
- 英語による**思考力・判断力・表現力**を高める

外国語教育充実のために（小中高を通して）

新学習指導要領では、全ての教科等の目標について、
①育成することを目指す資質・能力（何ができるようになるか）と、
②教科等の特質に応じた学習過程（どのように学ぶか）を明示。

言語活動を通して

言語活動及びこれらを結び付けた
統合的な言語活動を通して

コミュニケーションを図る資質・能力を育成する

言語活動の充実

→資質・能力を言語活動を通して育成

言語活動とは・・・

△言語材料の理解や練習のための活動

○互いの考えや気持ちを伝え合う活動

小中高目標のつながり

小学校外国語活動

1. 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す



小学校外国語

1. 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す



高等学校外国語

第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す



中学校外国語

1. 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す

小中高言語活動のつながり

小学校外国語活動

ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。



小学校外国語

ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。



高等学校英語コミュニケーションⅠ

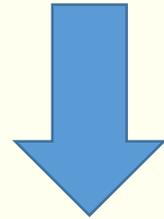
ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。



中学校外国語

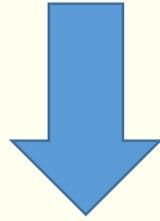
ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。

○生徒の英語による言語活動中心の授業



△①適切な目標設定とその目標に準拠した評価
に基づいた言語活動中心の授業
→単元構想に基づいた授業

「発信力を高める指導」課題は・・・



△② “質の高い” 言語活動中心の授業
→ 生徒が英語を通して考える言語活動

英語による思考力・判断力・表現力を高める見直し

(大きなCAN-DOリスト) の形での学習到達目標



年間指導計画



(小さなCAN-DO リスト) 各単元における目標



評価方法の決定



各時の学習指導計画

課題解決のために

学習到達目標・年間指導計画の見直し

明確な目標に基づいた授業・評価の改善

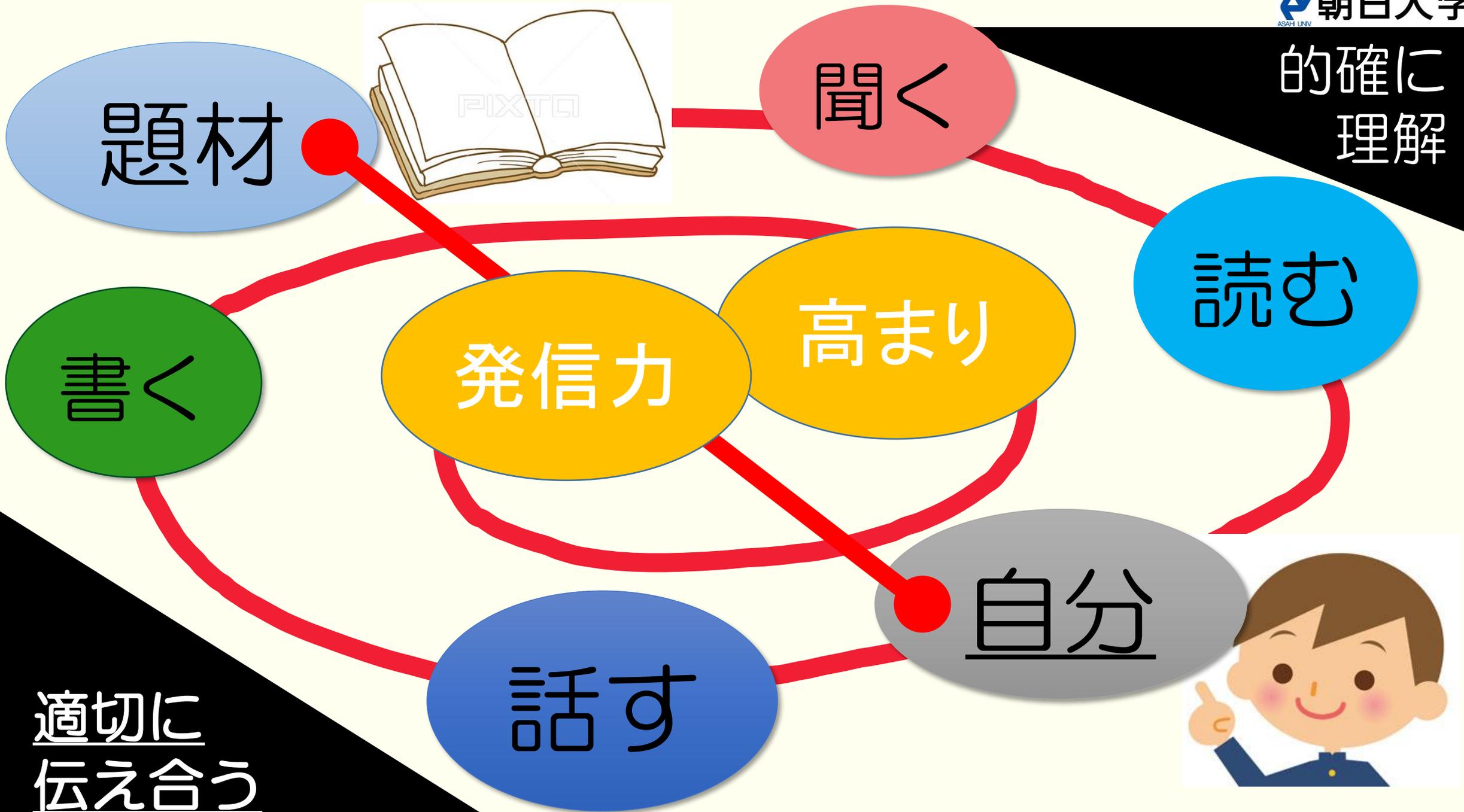
— 単元の目標の設定と単元の評価規準の設定

目標から評価までのつながり再確認

具体的な言語活動

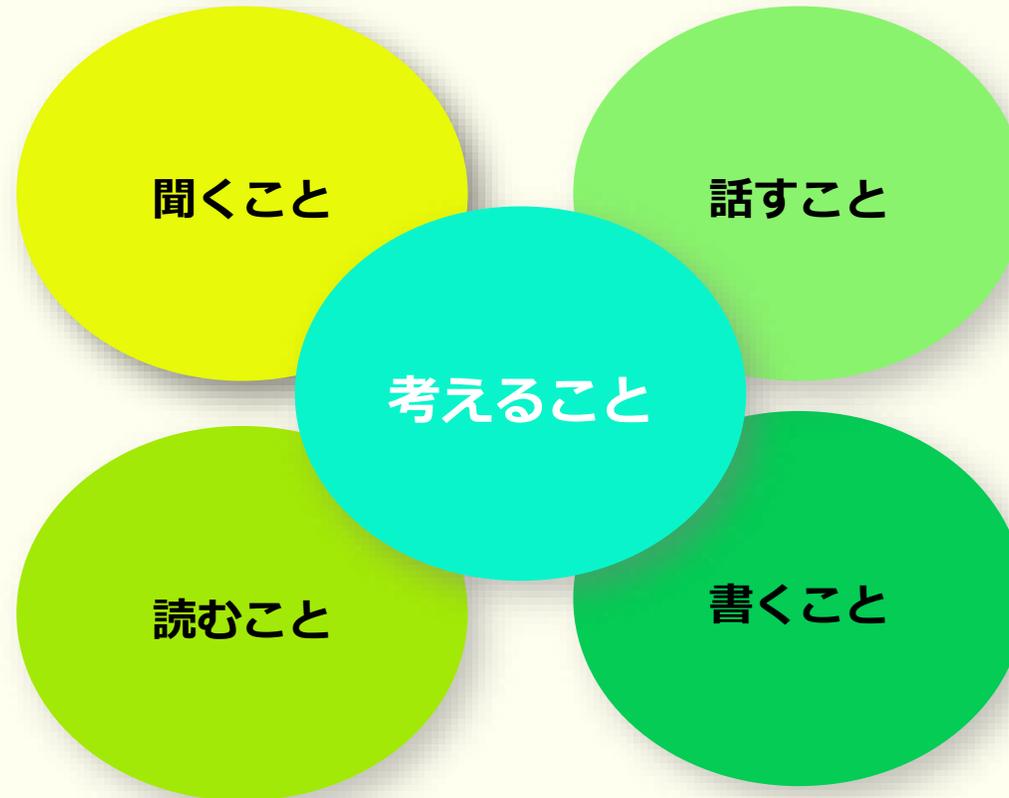


この単元を学習したら、
「生徒は英語で何ができる
ようになっているか」



適切に
伝え合う

思考力の育成が核！



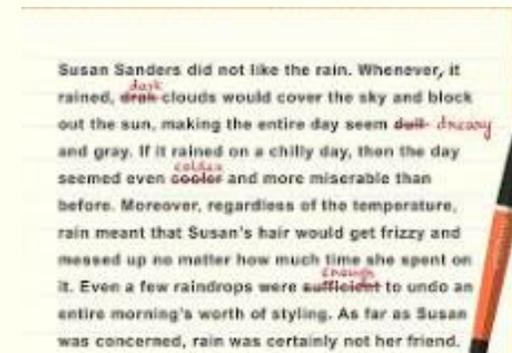
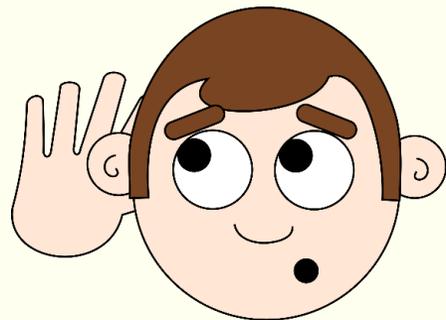
生徒に習得させたいこと:

Big Picture : スキーマ活用と**概要・要点・意図**の把握

Interaction : 学んだ内容についての**やり取り**

Strategies : 英語を使うための**ストラテジー**

Thinking Skills : **論理的思考力**を伴う**表現力・理解力**



教師が出来ること:

- **単元目標**を明らかにした授業づくりと評価の工夫をする。
- 教師自身が**英語でのinteraction**の場数を踏み
生徒と英語で**意味あるやり取り**をする。
- **生徒の脳が動く発問**づくりに努める。
教師自身がトピックに**興味を持ち楽しく学ぶ。**

Lesson 1

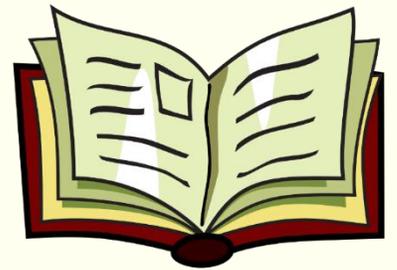
Lesson 2

Lesson 3

Lesson 4

英語科全体で出来ること:

- テスト: 年度 (学期) 始めに**出題内容と重点指導項目**を決めておく
- ワークシート: **何が重要かがわかる・どんな力がつくのか分かる**授業をする
- CAN-DO リスト: **単元目標 (小さなCAN-DOリスト) との紐づけ**
目標-指導-評価が線で結べるようにする
(目標・指導・評価の一体化)



教師ができること:

- 教師が「**やってみせる**」指導から始める
- 児童の話す内容に**共感したり驚いたり喜んだり**する
 - △言葉が正しく使えていたか
 - 話されている内容そのものに**意識**を向ける
- 児童の可能性を信じて、長いスパンで、
活動に取り組ませたり指導を行ったりし**続けること**
 - △「質問できましたか」「質問に答えることができましたか」
 - 活動の成果を確認すること

本日の内容

1. 新学習指導要領に基づいた授業づくり
～コミュニケーションを図る資質・能力の育成～

2. 評価の工夫とは
～目標と指導・評価の一体化～

生きて働く
知識・技能
の習得

外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる**実際のコミュニケーション**において活用できる技能を身に付けるようにする。

未知の状況にも
対応できる
**思考力・判断力・
表現力**等の育成

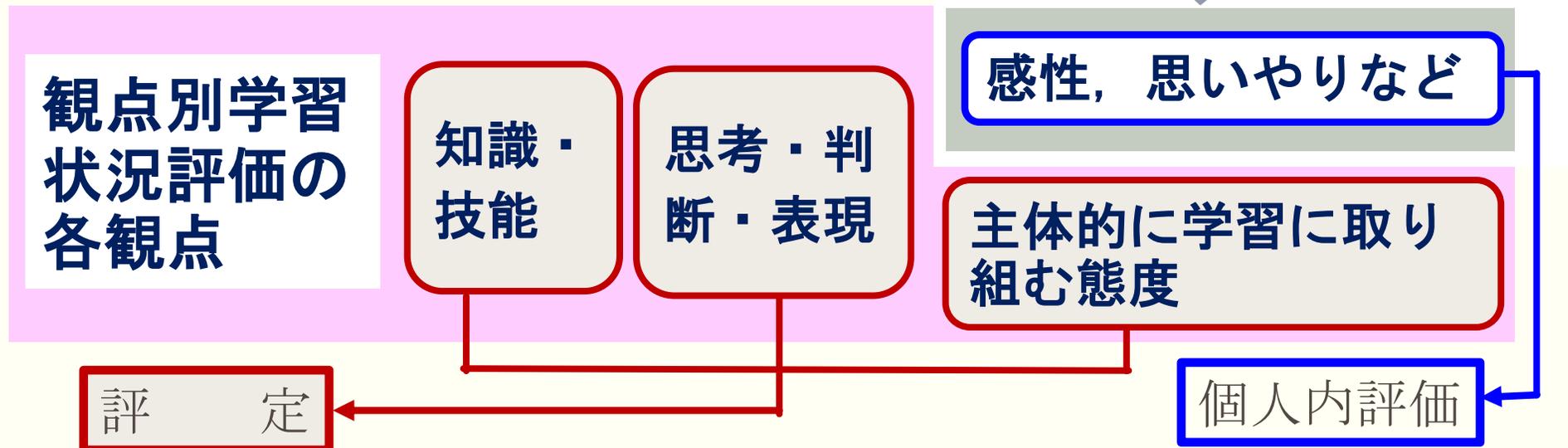
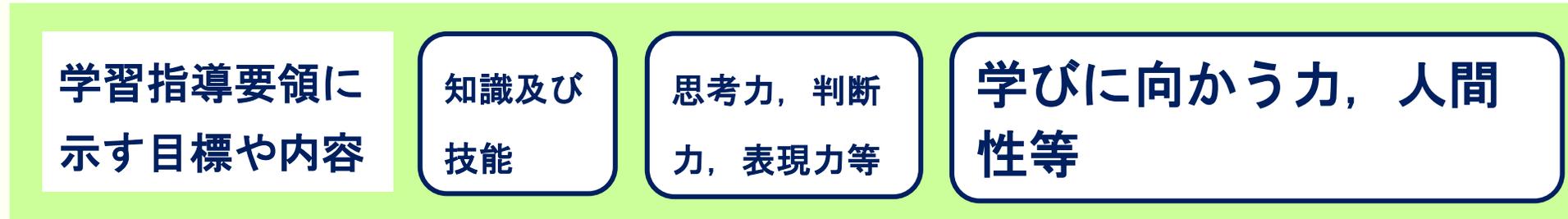
コミュニケーションを行う**目的や場面，状況などに応じて**，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びを人生や社会に
生かそうとする
**学びに向かう力・
人間性**の涵養

外国語の背景にある文化に対する理解を深め，**聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度**を養う。

自分の思いや考えを伝え合う
“言語活動”を通して育てる。

各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況进行评估するもの（目標準拠評価）



観点別学習状況の評価の結果を総括するもの。5段階評価(小学校は3段階小学校低学年は行わない)

観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒の一人一人のよい点や可能性, 進捗の状況について評価するもの

① 3観点5領域を評価

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評価
知識・技能	理解の 領域		表現の 領域				
思考・判断・表現							
主体的に学習に 取り組む態度							

評価情報の収集【記録に残す評価】は基本的には**単元末・学期末**に行う。

② 学習指導要領の目標に沿った評価計画を立てる

	聞くこと	読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
評価時期と 内容	定期テスト 中間・期末	Unit 5 単元テスト	定期テスト 中間・期末	パフォーマンス テスト (U4-6)	Unit 4	Unit 5	Unit 6	定期テスト 中間・期末
	リスニング	単元テスト の長文	定期テストの長 文	新聞記事を読んで、 ALTの前でやり取りを 行う	心に残った名言に ついてスピーチ	日本文化 を紹介	グラフを 使って説明 文を書く	表現問題
知識・技能								
思考・判断・ 表現								
主体的に学習に 取り組む態度								

③ 評価情報を記録する

	聞くこと	読むこと		話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
	定期テスト 中間・期末	Unit 5 単元テスト	定期テスト 中間・期末	パフォーマンス テスト (U4-6)	Unit 4	Unit 5	Unit 6	定期テスト 中間・期末
知識・技能	b		b	c	c	b	c	b
思考・判断・ 表現	b	b	b	c	b	b	c	c
主体的に学習に 取り組む態度	b		b	b	b	b	c	c

すべての項目
が埋まっている
必要はない

④ 評価を総括する

(例)

ペーパーテスト等の結果
(活動の観察の結果を加味)

パフォーマンステスト及び活動の観察の結果
(ペーパーテスト等の結果を加味)

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能	b	b	c	c	b	B	3
思考・判断・表現	b	b	c	b	c	B	
主体的に学習に 取り組む態度	b	b	b	b	c	B	

自己評価 (振り返りの記述内容) を参考

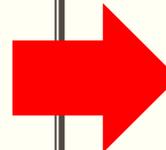
学習評価が変わる → テストが変わる

理解の領域	聞くこと	読むこと
知識・技能	聞いて、読んで (内容) がわかる	
思考・判断・表現	聞いて、読んで (概要) (要点) (必要な情報) がわかる	

表現の領域	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
知識・技能	英語使用の適切さ		
思考・判断・表現	内容面の適切さ		

今までのテスト

- 学期 定期テスト
- 1 リスニングテスト (外国語理解の能力)
 - ・
 - ・
 - 3 長文問題 (外国語理解の能力)
 - 4 文法問題 (言語や文化についての知識・理解)
 - ・
 - ・
 - 7 表現問題 (外国語表現の能力)



これからのテスト

- 学期 定期テスト
- 1 聞くこと (知識・技能)
 - 2 聞くこと (思考・判断・表現)
 - 3 読むこと (知識・技能)
 - 4 読むこと (思考・判断・表現)
 - 6 話す/書くこと (知識・技能)
 - 7 話す/書くこと (知識・技能)
 - ・
 - ・
 - 10 話す/書くこと (知識・技能、思考、判断・表現)

What is communication?

Co-creation

共創

Thank you very much.

mkamegai@alice.asahi-u.ac.jp